

第36回関西高校模擬国連大会 開催概要

模擬国連について

世界では、毎年さまざまな場所で模擬国連が開催され、概ね中学生から大学生まで何万人という若者が参加しています。この関西高校模擬国連大会はそれらの中の一つとして 1991 年より京都外大西高等学校国際文化コースが中心となって開催し、高校生らの英語学習の発表の場ともなってきました。

模擬国連は、参加者が実際の国際会議のシミュレーション（模擬）を行うことにより、国連や国際政治のシステムについて、また国際問題や国家の対外政策決定力がいかに働くかを学習する目的で実施されます。一般的に、模擬国連では、国連の総会・各委員会・安全保障理事会の諸活動をシミュレーションします。参加する生徒は国連加盟国代表の役を演じ、国連の議題から協議事項を選び、討論します。実際に行われる国連の議事進行手続きに則り、それぞれの代表が担当する国の利益を守りながら世界の諸問題解決の交渉を行います。模擬国連の準備作業を行いながら、参加者は国際問題や国際組織の複雑さをよりよく理解できるだけでなく、国連に関する知識も獲得できます。模擬国連で代表する国の立場や政策目標を設定できるようになるには、参加者が代表を務める国の歴史、文化、外交政策などを調査・研究しなければなりません。会議のために準備をし、また参加することで、討論の方法や交渉技術、非公式協議の方法、コンセンサス（総意）の作り方、説得力のある文章の書き方、あるいは公の場での発表方法を学ぶことができます。

この関西高校模擬国連大会という機会を通じて、参加する生徒の皆さんが単に英語の運用能力を向上させるだけでなく、何かしら地球市民として大切なことに“気づく”学びの場であり続けてほしいと願っています。

日程

- リハーサル：2026年5月30日（土）[オンライン開催]
- 本会議：2026年6月17日（水）～6月19日（金）
- 会場：国立京都国際会館

議題

Women's Empowerment for a Sustainable World（持続可能な世界のための女性のエンパワーメント）

- 第1トピック：教育における女性と少女
- 第2トピック：雇用における女性
- 第3トピック：リーダーシップにおける女性

議題及びトピックについて

国連は「女性のエンパワーメント」を、女性が自らの人生をコントロールできるよう、自ら議題を設定し、スキルを習得し、問題を解決し、自立心を養うことと定義しています。また「持続可能な世界」とは、将来の世代が自らのニーズを満たす能力を損なうことなく、現代の世代のニーズを満たすことと定義されています。しかし、世界の人口の約半分を女性と少女が占めているにもかかわらず、依然として世界中で差別が蔓延しており、社会の進歩や発展を妨げる要因となっています。

女性のエンパワーメントは、経済成長を促し、コミュニティを強化するため、持続可能な世界を構築する上で不可欠です。これにより、社会的・環境的責任が公平に分担され、すべての人にとってより公平で正義ある世界、すなわち、個々の、そして社会的なニーズを満たすための人権と機会が全員に保証される世界の実現へとつながります。本会議を通じて、各国大使を務める生徒の皆さんは、教育、雇用、およびリーダーシップにおける差別を撤廃するための政策を模索することが求められます。

第1 議題：教育における女性と少女

紛争地域や、伝統的・保守的な規範が強い地域、あるいは疎外されたコミュニティにおいて、女性や少女が意味のある教育を受ける機会はいまだ不平等なままです。教育への障壁には、文化的・伝統的な役割期待に基づく差別、教育施設の安全確保の不備、限られたリソース（カウンセリングや警備サービスなど）が含まれ、これらが女性と少女のエンパワーメントと将来の機会を阻害しています。教室の内外でジェンダー平等を教えることは、社会的な責任の分担を促進し、安全で包括的な学習環境を構築するための重要な初期段階のステップです。教育分野における課題に対処することは、世界人口の半分を占める人々の潜在能力を最大限に引き出し、より公正で持続可能な社会を築くために不可欠です。

第2 議題：雇用における女性

進展は見られるものの、世界の女性依然として労働市場への平等な参加において、あらゆる形態の職場差別に直面しています。これには賃金格差、不十分な職場保護、仕事と生活の両立を困難にする勤務体系などが含まれます。文化的規範、ジェンダー特有の役割期待、およびケア労働の責任は、特に開発途上地域において、フルタイム雇用やフォーマル雇用へのアクセスを制限する要因となっています。また、金融・ビジネスサービスへのアクセスにおいても男女間で格差が存在します。公正な経済的処遇、職場の保護、育児休業、柔軟な働き方、および「同一価値労働同一賃金」を推進する政策は、女性のエンパワーメントと社会的な持続可能性を達成するために不可欠です。

第3 議題：リーダーシップにおける女性

女性は、政治、ビジネス、学術の各分野におけるリーダーシップ層において依然として著しく過小代表されており、世界の意思決定の地位に占める割合はわずかです。構造的な障壁、ジェンダー・バイアス、固定的な文化的・伝統的な役割、そしてメンターシップやネットワークへの不平等なアクセスが、女性の進出を制限し続けています。包括的な政策の推進、リーダーシップ研修、および公平性に向けた文化的変容は、リーダーシップにおける女性のエンパワーメントに欠かせません。これは意思決定を強化するだけでなく、指導的立場や社会的・環境的責任が公平に分担される、正義にかなった持続可能な社会を育むことにつながります。